

丹波篠山特産物を 循環型農業で！

2026年9月11日

杉尾農園 代表 杉尾 誠



「さや黒くん」
農園のゆるキャラ

家族で営む農園

2



昔、懐かしい田舎の家族、背景の吊るし柿が光っています



3家族で支えあい、
オンリーワンの黒大豆
にチャレンジ！

1. 杉尾農園の概要

農園名：杉尾農園 代表 杉尾 誠

所在地：〒669-2455 兵庫県丹波篠山市宇土522番地

連絡先：TEL/Fax 079-594-1216 携帯 090-3385-3603

Mail mpku13594@gaia.eonet.ne.jp

HP <https://sugionouen.com/>

園主経歴：昭和24年9月24生まれ 77歳

（約半世紀、兼業農家として父親の農業を手伝い）

平成23年4月 （株）I7マル代表取締役就任 専業農家として事業展開

（特産物の生産・販売、不動産事業等）

平成27年4月 長男が後継者として杉尾農園に就職



農園と「しだれ桜」



春、桜も満開！農園も満開！



2. 農園の規模

栽培面積 15町 4反

【内訳】 (町; 10.000m² 反; 1.000m²)

- ・ 米作（コシヒカリ） 10町
- ・ 豆作（黒大豆） 5町（枝豆：2町、黒豆3町）
- ・ 芋作（山の芋、紅はるか等） 2反
- ・ 野菜作り（夏、秋、冬野菜等） 2反

スタッフ 10人

- ・ 家族3人（園主、妻、長男）
- ・ スタッフ7人（男性4人、女性3人）

※10月の枝豆販売期間には、総勢50人体制で生産、販売を行う



可憐な「黒豆の花」



黒豆はクロウ豆

6



クロウ豆のスタート、
土寄せはトラクターで楽ちん



発酵野菜堆肥の散布、
枝豆の旨さの秘密、隠し味！



補植用のトレイ苗200個、
元気いっぱいです

3. 特産物に特化した黒大豆

◆ 気候・風土に適した黒大豆作り

- ⇒ 篠山盆地の霧・霜等の風土特性
- ⇒ 朝晩の寒暖差による旨味の醸成

◆ 年間を通じた生産・販売

- ⇒ 6月～ 9月：黒豆栽培
- ⇒ 10月～ 11月：枝豆販売
- ⇒ 12月～ 1月：黒豆販売
- ⇒ 12月～翌10月：加工品販売

日本農業遺産
に認定！

丹波篠山市の黒豆栽培が300年間、
伝統・文化・技術が受け継がれてき
たとして、令和3年、日本農業遺産
に認定されました



お歳暮セットはいかが？

8



黒豆加工品セット（お歳暮用として大量受注）
（黒豆煮×2個、グラッセ、きな粉豆、黒豆茶、きな粉）



毎年の年末行事、家族全員で準備



5種類の加工品セット、段取りが8割

4. 枝豆直売所の設営

◆ 対面販売は笑顔でおもてなし

◆ お客さんに見える化

⇒ 脱莢、洗浄、選別、袋詰めまでの工程が一目でわかる

◆ リピーターを逃がさない

⇒ オンリーワンの味を永遠に

⇒ 発酵堆肥に勝るものなし



園主よりでっかい黒枝豆



笑顔でおもてなし



行列のできる直売店！嬉しい悲鳴です



枝豆の選別ライン
お客様から見て、声をかけて、応えて



「枝豆狩り」は大人気、
時間無制限で、ピクニック気分に

5. 杉尾農園の目指すもの

◆ 循環型農業の追求

- ⇒ 発酵野菜堆肥の散布 $3 \text{ t} / \text{反} \times 50 \text{ 反} = 150 \text{ t}$
- ⇒ 烏骨鶏の放し飼い（鶏糞散布、残飯・小米飼料）

◆ 六次産業化でオンリーワン

- ⇒ 加工品販売（グラッセ、きな粉、きな粉豆、
黒豆茶、抹茶豆、黒豆煮）
- ⇒ 地域に根差した農業



烏骨鶏の放し飼い、循環型農業

12



農園のアイドル、大人気！
野菜が大好物！循環します



直売所の販売品目（枝豆、米、芋、栗、
にんにく、柿、加工品、その他何でも



さや黒くんがPR、一目でわかる